

火井花 No. 7 7/9, 5
共産主義者同盟
奥西地方委員公

＜大綱＞

①日本軍国主義の二十六年戦争に於ける敗北は、
一種の歴史的転機である。すなわち、社会主義革命の準備が
進み、日本軍国主義の敗北は米軍国主義（英・仏）との
戦いに発展する。この戦いは、米軍国主義の敗北を意味する。
この戦いは、米軍国主義の敗北を意味する。

②この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

③この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

④この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑤この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑥この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑦この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑧この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑨この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑩この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑪この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑫この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑬この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑭この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑮この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑯この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑰この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑱この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑲この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

⑳この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

㉑この二つの敗北は、戦後日本の本質を決定する。
米軍国主義の敗北は、戦後日本の本質を決定する。

中核派は分岐点にたつており、我々に対する愛派性を 秋のうちに、我々が未だ少数派であり、党派内編に
これも表面たつては必ず強化する。このキリキリした 割、てはいつていくことが必要とされる場合は、絶対に
しの場合に勝ちあきらむかどうかに、中核左派の分解 ありえない。

もありうるのだ。それが必要ならば、我々が解体される 愛派派斗争は、
のであり、それは革命の敗北につながる。中核派は、
武装斗争をイジメようとするれば、必ず「反帝反スタ」

「ソノ人間の説理」 「重要点」を説きおぼならぬ
。受容できない限り、必ずジグザグする。我々は、
、以降の成果を物質化できるかどおかが問われ
り、物質化することには中核の左をなつていくかたちに
なるだろう。この対抗関係は非相解であり、統一戦

線は、組織戦術として、相互のヘヤモノが枯枯する
場合（破防法、保管処分）あるいは我々にとつて
統一戦線が勝利で、トロツキが屈服する場合、その他
合（この間の両面でのトロツキ戦線と米への我々

の脅威）にありうる。

スロトカン

■今秋 沖縄・三里塚闘争を武装闘争で斗い抜けよ。

■日帝を打倒する蜂起・戦争派の潮流を形成せよ。

■日帝のマゾア侵略・反革命行動を粉砕せよ。

○日帝の侵略・反革命前線基地・沖縄を武闘の地とせよ。

○沖縄近還協定粉砕、批准阻止。

○自衛隊の沖縄派兵阻止。

○入管法案上程阻止。入管体制解体。入管令撤廃。

○帝軍解体。小西叛軍裁判を斗い抜き、隊内反乱を
拡大せよ。

○三里塚・北富士の英雄的農民と共闘せよ。

○刑法・少年法改悪阻止。保安処分粉砕。

○破防法裁判・RG裁判勝利。

○革命組織に対する破壊工作を粉砕せよ。

○被抑圧階層に対する差別分断支配粉砕。

○狭山差別裁判粉砕。石川青年を即時尊還せよ。

○同対留答申粉砕。

「返還」率選託、返還粉砕批判
印日主メ、ファシズム、ホナ説批判
日米同盟の危険論批判（中核）連帯共同件
フロント、市場国分闘争

米中合談の評価……60年代の斗争の交代と党
をめぐって行われるだろう。

※P1からの続……による平時からの結合分裂（積水
、東洋高圧、長崎造船……）鉄釘、電通を中心とした、
面政型労働組合相対……EMFJの結成
一次防と二次防と三次防（ナイキ、ハーキュリーズ）
憲法と只台憲政、結合主義（脱）……P2へ

スターリン 帝国内王女の労働運動を粉砕し、階級的労働運動の更なる展開を、
反スターリンマルクス主義を粉砕し、革命的マルクスレーニン主義を復権させよ。

世界武装闘争に敵対する日向一派粉砕。
闘争の人民的・反帝的性質に注意せよ。

